

一勝地小だより

第2号

R3. 5. 25発行

文責：梅本 和高

心を込めた挨拶をめざして

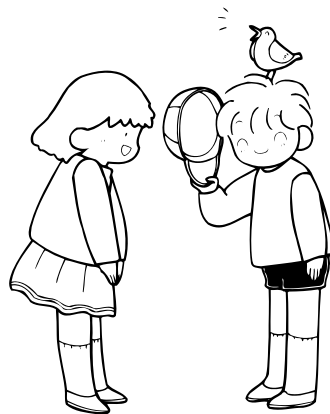
以前、『ありがとう』の反対って何か分かる？」と尋ねられたことがありました。「うっ」と言葉に詰まってしまいました。「『ありがとう』の反対は、『当たり前』なんだよ。」と教えてもらいました。

「ありがとう」を漢字にすると「有難う」、漢字のとおり、「有ることが難しい」、「有り得ない」という意味です。「なかなか有りそうに無い」「珍しい」ことから、後に、「身にしみて嬉しい」という、お礼や感謝の気持ちを表すことに変わっていったものだと思います。

相手の行為を素直に受け止め、心を込めて「ありがとう（ございます）」と言えるよう、あるいは、相手から「ありがとう（ございます）。」と言われるような親切や協力、思いやりの行動が取れるようになりたいものです。

1学期の始業式、入学式で「明るい笑顔で進んで挨拶をすること」をお願いしました。素直に自分の思いを言葉として出すことができたとき、お互いの思いが伝わり合うと思います。

気持ちの良い挨拶が聞こえる一勝地小学校をめざしていきます。



お世話になります。PTA本部役員決定

4月23日に実施予定だったPTA総会は、新型コロナウイルス感染症対応のため書面開催となりました。その中で、本年度の本部役員の皆さんが決定しましたので、ご紹介いたします。コロナ禍で、ご苦勞をお掛けすると思いますが、みんなで知恵を出し合って、子供たちのために充実したPTA活動ができればと思います。どうぞよろしくお願いいたします。

※個人情報保護の観点から省略します

また、各学年の学年委員、母親委員、広報委員、そして、地区委員・連絡委員の皆様にも大変お世話になります。1年間、どうぞよろしくお願いいたします。

こがね保育園との合同イモ植え

5月18日(火)にサツマイモの苗植えをこがね保育園の年長さんと一緒に行いました。

こがね保育園の年長さんは、8人の参加でした。軍手をはめて、イモ植え専用の器具を使ってスムーズに行うことができました。

このイモ植えまでには、前PTA会長の谷口さんにトラクターで畑を耕してもらい、現PTA会長岩崎さんと会計の田頭さんには、草払いをしていただきました。それ以外にも、地域の方々の協力を得ながら教育活動を行うことができます。ありがたいことです。

また、今回、こがね保育園と一緒にいったイモ植えを初め、いろいろな交流を通して、保育園と小学校の連携を図っていきたいと思います。



帰宅時間のお知らせメッセージは聞こえていますか？

5月17日(月)から村内の防災無線を通じて、一勝地小学校と渡小学校の6年生による帰宅時間のお知らせするメッセージが流れています。このメッセージは、遊びに夢中になっている子供たちも友達の声聞いて、自分たちで家に帰るようにすることを目的としています。

6年生は、球磨村役場で、みんなに伝わるように心を込めてメッセージを録音してきました。

保護者の皆様、地域の皆様、このメッセージが聞こえてきたとき、子供たちが、外で遊んでいましたら声掛けをよろしくお願いします。



緑の少年団活動スタート

緑の少年団は、緑と親しみ、緑を愛し、緑を守り育てる活動を通じて、ふるさとを愛し、そして人を愛する心豊かな人間に育っていくことを目的としています。一勝地小学校の全校児童が緑の少年団の一員として活動をしていきます。

まずは、5月25日(火)朝の活動で、プランターにマリーゴールド、サルビア、メランポジウムの苗を植えました。縦割り班での活動でした、上級生が、下級生の世話のよくしてくれたお陰で、みんな上手に苗を植えることができました。これからは、自分のプランターの花をしっかり世話していきます。

